

令和7年度 第1回 学校運営協議会議事録

日時 令和7年4月25日(金) 9:30～10:30

場所 下野市立緑小学校 会議室

参加者 田村 伸子 委員 小嶋 英史 委員
草川 奈津子 委員 真分 喜治 委員 井上 江梨子委員
鈴木 寧子 校長 井上 啓太 地域連携教員
増淵 敦子 教頭 上野 友美 教務主任 坪山 仁 地域学校協働活動推進員
欠席者 山中 英雄 委員 中嶋 孝子 委員 海老原 忠 地域学校協働活動推進員
石崎 真清 学校教育課指導主事

1. 開会 自己紹介

(1) 校長あいさつ

(2) 自己紹介

(3) 地域学校協働推進員より

今年度の業務の一つは、地域と共にある学校作り。

学校を核とした地域作りをしていきます。今年度は、国分寺地区から本部の立ち上げをスタートします。追って、南河内、石橋地区へと進めていきます。(資料参照「地域学校協働活動、地域学校協働本部イメージ」)今年度は、学校支援に特化した形でスタートします。本部会のメンバーは、学校のニーズに合わせて募集する予定です。資料はイメージ図です。推進委員がコーディネートし、組織体制作りを行います。二中学区には、合同の学校運営協議会がありますが、これらも、コーディネートし、本部会を今後立ち上げていく予定です。今後、皆様の意見を聞きながら、本部会を立ち上げていきます。



2. 学校運営協議会

(1) 任命書交付

(2) 会長・副会長の選出

会長…… 田村 伸子 様

副会長… 小嶋 英史 様

(3) 学校運営方針等について(説明)

校長:→資料参照(「下野市立緑小学校グランドデザイン」(案))

4月1日に職員にも同様のことを伝えました。学校は何のためにあるのか、子供のためにあります。今年度31年目になる緑小学校ですが、全ての子供たちに公教育を保証する必要があります。小学校の6年間は、子供の将来にとっても大切な時期です。生涯学習の基盤作りは、この義務教育の6年間にあります。子供たちには自信をつけさせたいです。所属感やこの地域で育つ喜びや誇りももてるようにしたいです。



○学校教育目標・具体目標・目指す学校像・目指す教職員像等について

学校教育目標は、創立以来、『かしこく やさしく たくましく』です。自ら考え、行動できる心豊かな子供の育成を目指しています。今年度もスローガンとして、「元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子」を掲げています。3年目となり浸透してきています。目指す学校の姿は、「子どもが育ち、教職員が協働し、保護者地域と連携する学校」です。子供が育ち、教職員は地域や保護者と連携する。「つながる 一人の10歩より10人の一歩」をスローガンとし、力を合わせながら、子供がわくわく学び、みんなの笑顔があふれる。それが、学校の役割だと考えます。

続いて、子供たちに身に付けさせたい力、学力についてです。学力は幅広い意味でとらえています。その4つの力を「夢を見つめる力」「自分を見つめる力」「仲間を見つめる力」「学びを見つめる力」としました。自分が夢をもってそこに向かっていこうとする力は大切です。しかし、夢があるだけでは到達できません。そこで、自分を見つめる力、自分自身を見つめることが必要だと考えました。続いて、仲間を見つめる力。自分一人では、何事も達成できません。そこで必要となるのが、仲間です。協働する中で、自分を生かすだけでなく、仲間を生かすことにもつながります。最後に学びを見つめる力。自分の学びは今、どうなっているのだろうか。自分の学びをしっかりと見つめることが大切です。これらを生きる力が身に付いていくための「子どもたちに身に付けさせたい4つの力」としました。

これらは、自然に身に付いていくのではなく、どんなふうにしていくのかということが学校経営の基本方針の7つです。第1は、安心安全です。これが第一前提です。物理的、心理的、いろいろな安心があります。全教職員が危機意識を共有して進めていきます。2つ目。児童一人一人の存在は、かけがえのないものです。人権教育を基盤とし、特別支援教育の視点に立ち、進めていきます。教職員の側にたった考え方が3つ目です。子供が一人一人違うのと同じように、教職員も一人一人が違います。年齢もキャリアも得意不得意も違います。一人一人の資質能力を補い、高め合って組織力の向上を図りたいと思います。4つ目は、3つ目のことを踏まえてやっていきたいです。5つ目。人との関わりを大切にしていこうと、新たな力が生まれます。6つ目として、保護者や地域との連携推進を挙げています。坪山様も地域を作るために学校が核となれるよう話されていました。最終的に7つ目のように、「自ら考え、主体的に行動できる心豊かな児童の育成」につながるのではないかと、このように設定しました。

努力点として4つの視点があります。1つ目、「学ぶ力を育む学習指導」についてです。特に力を入れたいところに○がついています。その中でも「イ」と「力」です。「イ」については、昨年度から聴く力にシフトしています。今年はさらに一歩進めていきたいです。双方向のやり取りは十分出来てきています。聞いたことを取り込んで、さらに、それを再構築する、自分の考えを深める、そういうところを目指していこうということです。小中一貫でも祇園小、二中と連携し、特に国語科を中心として進めていきます。他の教科にもつなげていきたいです。続いて「力」についてです。今年度も、ブロック単位で進めています。今年度、本校

は、職員が非常に若いです。2年目が学年主任になっています。新採の職員と組んで学年主任をやっています。昨年度も2年目で単学級を受け持つことができました。それくらい小規模になっています。学校組織ということで伝えさせていただくと、パンパンの単学級。現制度では、35人が限度となっていますが、6年生は35人学級です。担任が一人でやっていくのは困難というところもあります。そのため、昨年度からブロックチーム制を推進しています。チーム制は、全国的にも見直されており、日光市では、栃木県では初めて、チーム担任制を導入しました。全国的に見ると、行政主導で進められているところもあります。本校では、昨年度から学校単位で進めています。昨年度は初年度でやれるところから進めておりました。文科省でも次期学習指導要領では、4年生から教科担任制を取り入れることについて話し合われていると聞きます。子供たちにとってそれが学びを深めることにつながると思いますので、学校運営の核として今年度も進めていきたいです。具体的には、ブロック主任を置くことは昨年度より継続します。2週間を目処として、給食などの担当者を入れ替えることも高学年ではしています。学習指導の点では、時間割を工夫し、ブロックで教科担任制を進めながら、ブロック制を推進しています。1・2年生は、時間割を全く同じにして、進めています。教科担任制とブロックチーム制の推進の両輪で進めていきます。学力の向上にどのようにつながったかは、まだ、数値としては明確ではありませんが、今後も続けていきたいです。一つ良かったことは、不登校の数が減ったということが言えます。子供が声を先生たちに声を掛けやすくなった。職員もどの学年の子にも声をかけやすくなったことが一因と考えられます。欠席の日数が減った。それは実感しているところです。

続いて2番目の「豊かな心を育む指導」については、学業指導を通した児童指導を推進します。県教委も推進している学びに向かう集団作り、居心地のよい集団作りは、児童指導の核となる考え方です。

続いて3番目。一番は、時間を守るということです。本校の課題として、時間を守るという意識に欠ける部分が見受けられます。それは、事故やけがにもつながります。昨年度、日課を見直し、子供たちがゆとりをもって過ごせるように考えました。日課は、学校評価でも評価が良かったです。休業空け、特に夏休み明けは、なだらかに学校に慣れていけるよう、特別日課を組むようにしました。心と体の健康を考えていくようにします。「健やかな体」については、先程も話しました通り、全ての第一条件が安全です。自分の命は自分で守るということも話しています。二中学区の引渡訓練もあります。今年度は、訓練前に実際の引渡がありました。4月11日は、ひどい雷雨でした。1・2年生下校後、訓練の前に本番となりました。突然のことにも、保護者の方のご協力のおかげで混乱なくできました。子供たちを啓発しながら危機回避能力を育成していきたいです。

最後は、「地域とともにある学校作り」です。「イ」と「オ」を中心として進めていきます。本校は、PTAの井上会長を中心として、自律したPTAと他からも評価を得ています。非常食の備蓄にも取り組んでします。PTA会費から児童、職員の分を用意していただいています。有事の際にはそれを活用します。何事もなければ、年度末に各児童に持ち帰ってもらう

ことになっており、今年度から進めていきます。ご相談すれば、物資両面にわたってご理解をいただき、連携しています。「イ」については、積極的な公開を心がけています。学校便りやホームページを日々公開しています。ご協力をいただき、進めていければと思います。

児童の実態として、昨年度の調査の結果から分かる数値的な面を掲載しています。自己肯定感については、まだまだ課題もあります。自信をつけられるような教育活動をしていきます。

教職員については、「目指す教職員の姿」このような教職員集団であり続けられるよう、努力していきます。まだ3・4 週間ですが、信頼できる職員集団です。お力添えを頂きながら、進めていきたいです。本日、授業参観があり、承認頂ければ、ご家庭の皆様にご説明したいと思っています。

(4) 学校運営についての協議・・・(司会 田村会長)

田村会長：校長先生からの説明についていかがでしょうか。

小嶋委員：生涯学習という言葉がありました。大学の教員をしています、小学校からやっているのだな。学校は勉強を教えるところではなく、勉強のやりかたを教える所と言われたことがあります。小学校の頃から、能動的な学習、自分の興味をもったことをやっていく能力をつけることはよいですね。グランドデザインは全く問題ない。どのようにやっていくのか。具体的に達成するためにどのようにやっていくのか。教えていただけたら。

田村会長：貴重なご意見ありがとうございます。ご感想でも大丈夫です。

真分委員：スローガンがすごくいい。「つながる 一人の10歩より10人の一歩」昨年も伺ったがすばらしい。今年1年委員として頑張りたいです。

井上委員：6年生に次男がます。学校経営の努力点にある「時間を守り、整理整頓ができる」という点。整理整頓ができずずっと迷惑をかけている状況です。4年生5年生と担任の先生、校長先生、支援の先生など、みなさんの力を借り、こんな指導のしかたがあるんだ、と感謝しながら、なんとかやってきました。6年生になり、ようやく落ち着きが見えてきたところです。6年生のクラスが落ち着いてきています。このグランドデザインを信用して、子供たちをお任せしたいです。

田村会長：教職員の方のおかげもありますが、お子さんも成長したんだと思います。

校長：そう言っていただけてうれしいです。

草川委員：教職員の方々が協力していろんな方向から見てくれることは、子供たちにとっては助かると思います。学童でもそういったことがあります、いろいろな先生が見てくれる安心感があるのではないかと思います。

田村会長：たしかにそうですね。保護者にとっても、お子様にとっても言うことなし。すばらしい。これをどのように生かしていくか。字面だけではなく、どのように動かしていくのかということになると思います。他にご意見や感想ありませんか。

坪山地域学校協働活動推進員：教科担任制は、他の学校でもやっているところがあるように
思います。初めて聞いたのは、ブロック担任制。それで、不登校が減ったこと。いろ
いろな先生の目があって、色々な先生と接することは、子供にとってよい。そういう
苦労もあって欠席者が減るのはいいこと。色々な方法で今後も継続してほしいです。

(5) 学校運営について承認

※令和7年度学校運営の基本方針が、委員の総意として承認されました。

(6) その他(事務連絡)

報酬について、口座振替の変更届が必要な方がいますか。変更が必要な場合は、声をか
けてください。今回の学校運営協議会は、日にちの変更があり、ご迷惑をおかけしました。

○今後の予定

- ・第2回学校運営協議会 ……7月2日(水)12:30~15:30

給食試食会、授業参観及び話し合い

- ・第3回学校運営協議会 ……2月2日(月)14:00~15:30

学校評価、職員との懇談会

- ☆二中学区学校運営協議会 ……9月25日(木)第二中学校にて

※代表の方に参加していただきます。

○その他の学校行事について。皆様に出席していただきたいもの。

- ・10月2日(木)……下野市児童表彰式(9:00~9:45)
- ・11月1日(土)……運動会(午前のみ)：雨天11月2日(日)順延
- ・3月18日(水)……卒業式